

待 合 室

No106 2020年12月発行

医療法人社団 井上医院

□ 井上医院

□ 居宅介護支援事業所 井上医院介護支援室

□ 通所リハビリテーション カース

養父市浅野368-2 ☎079-664-0051

HP:www.inoueclinic-yabu.or.jp



当院のツインデミック対策

人類を脅かす感染症の世界的大流行はパンデミックと呼ばれています。新型コロナウイルス感染症はまさにその状況下です。

11月7日の我が国の新たな感染者は1300名でした。国外を見ると米国は1日に10万人、フランスでは5万人台と猛威を奮っています。

わが国ではもうすぐインフルエンザ流行期に入ります。インフルエンザ流行と新型コロナウイルス感染症流行が同時並行で進むとツインデミック状態となり、国も65歳以上の高齢者にインフルエンザの優先接種を勧奨し、この憂慮すべき事態への対応を進めています。

当院では従来から発熱の患者さまには廊下の一角でお待ち頂くように院内感染対策をとっていますが、発熱でつらい患者さまに廊下の椅子でお待ちいただくのは忍びないものでありました。

この度、介護支援室が新棟“ステラ”に移転したのを機に発熱患者さまにゆったりお待ちいただく空間を作りました。室内は常時換気を行いウイルス除去に有用なHEPAフィルターを装備した換気装置を設けています。更に次亜塩素酸を発生させる空気清浄機ジアイーノ®を設置し空間除菌を図っています。

また、インフルエンザ検査には鼻咽頭液ぬぐい液の採取を要しますが、万が一の新型コロナウイルス感染の患者さまからの飛沫感染対策として、患者さまの目の前で飛沫を吸い取る換気装置を導入致します。

当院かかりつけの患者さまで発熱が見られた場合には、あらかじめお電話を頂きご来院時間を決めさせていただきます。ご協力をお願いいたします。

このように院内感染対策を実施しておりますので一般患者さまの通院にご心配は無用です。安心してご来院ください。

従来の廊下の待合スペース

第2待合室



天井に設置した換気装置

吸引装置



医療機器製造品目登録番号：302A0R2000077000



理事長 井上正司

井上医院介護支援室が移転しました

2019年12月に着工していたステラ建築工事が2020年8月に竣工しました。

9月14日より井上医院介護支援室が移転し、介護支援専門員5名が新しい執務室で業務を開始しています。

現在は1名産休中の為、4名がゆったりとした空間でご利用者さまに充実したケアプランを作成するために日々尽力しています。

従来はご利用者さまやご家族さま、業者さまとの相談は狭い事務室の片隅で行っていましたが、独立した相談室が設けられました。

訪問看護専用の拠点も設けました。従来は外来棟処置室のベッドで看護記録を記入したり、患者さまの出入りされる処置室で訪問の物品などの準備をしていましたが、あらたな空間ではゆとりある広さの中で準備、記録などに専念できます。看護記録のデジタル化も視野に入れ、館内にはWifiを設置しどの場所からでもインターネットに接続でき、すでに2基のパソコンを配備しています。

一層緻密な訪問看護サービスを患者さまに提供させていただきます。訪問看護の詳細は別号にてご案内いたします。

また、ご相談に来所なさったご利用者さまにも気兼ねなくご利用いただけるユニバーサルトイレも設けました。

館内には24時間空調換気設備を導入し、常に新鮮な空気を取り込んでいます。

さらに多目的室として三蜜対策を考えた46㎡のミニホールを設置しました。カンファレンス、勉強会などが開催される予定です。



ステラの外観



玄関



介護支援室



訪問看護部



ミニホール



相談室



ユニバーサルトイレ



食欲の秋!

さつまいの美味しい季節ですね。さつまいといえば蒸したり焼いたり。でも料理となるとなかなか...という方も多いのでは?という事で今回は岡崎管理栄養士考案のレシピをご紹介します。医院の受付にも今後色々なレシピカードを置きたいと思いますので、どうぞご活用ください。

カーサでは夕食弁当のご注文も承っております。前日までにご予約下さい。夕方医院での受け取りも出来ます。詳細は医院受付でお問い合わせください。



サツマイモと手羽先の黒酢煮

材料 (4人分)

サツマイモ 中1本

手羽先肉 4本

卵 4個

さやいんげん 4本

生姜 1片

白ネギ 1/4本

★ 水 1/4カップ

黒酢(米酢でもよい) 大さじ4/1

砂糖 大さじ2

濃い口しょうゆ 大さじ3

作り方

1. さつまいは厚めの輪切りにする。さやいんげんは塩ゆでして、食べやすい大きさに切る。卵は、ゆでたまごにする。
2. 鍋に鶏手羽、たたき生姜、ぶつ切りの白ネギ、それがかぶる程度の水を入れ、火にかける。15分くらい炊いて★の調味料と卵を入れる
3. 手羽肉が柔らかくなるまで、弱火にかけて落し蓋をしてコトコト炊く。
4. 煮汁が半分くらいになったら、さつまいを入れる。この時、煮汁が多すぎるとさつまいが煮崩れたり、ほくほく感がなくなる。少ないと、さつまいの火が通るまでに煮汁がなくなってしまう。
5. 芋を入れたら、火を強めて、煮汁が回るようにする。できるだけ煮汁を煮詰めるとともに、早めにさつまいに火を通すように心がける。
6. 器に盛りつけ、いんげんを添える。



11月2日にリーダー研修を行いました。

『ワークライフバランス実現のために』という演題で、家庭と仕事の両立の必要性、それを実行するためにはリーダーとしてどういった行動をとる必要があるのかの講義でした。講師の先生からは積極的に意見を述べたり、質問をするなど、活発な職場であると評価して頂きました。

今後も研修の機会を継続し、職員の技術向上を行い、ご利用者さまの在宅生活を応援したいと思いますので、今後ともよろしくお願い致します。



落ち葉のじゅうたん

カーサの周りの木々の葉も毎日風に吹かれてハラハラと落ちてゆきます。トレーニングルームの前の庭は一面落ち葉に覆われ、秋の深まりを感じさせてくれます。



11月1日に井上医院・カーサ職員合同ハイキングで加西アルプスに行って来ました。

紅葉にはまだ早かったのですが秋のさわやかな日差しの中、運動するのは本当に気持ちのいいものですね。そして運動の後のご飯の美味しい事!やはり空腹は何よりの調味料といったところでしょうか。さあ、次はどこにしようかなあ...

コロナ禍の冬を元気に過ごしましょう

2020年も残りわずかとなりました。2020年は新型コロナウイルス感染症との闘いで、『コロナの一年』だったというのが筆者の感想です。皆さまも、『コロナ』と闘いながら、我慢をしたり、その中でもできることや楽しみをみつけたりしてしながら過ごされたのではないのでしょうか？

今年の冬は、新型コロナウイルス感染症に加え、インフルエンザとの同時流行に注意が必要であり、より一層の健康管理が大切になってきます。そのためには、基本の感染症予防策を徹底することが重要です。

「今さらこんなこと当たり前！」でも、この当たり前を怠らず、徹底して実践することが、コロナ禍の冬を元気に過ごす一番の方法です。そして、適切な睡眠・食事・運動をこころがけ、免疫力を高めて、この冬を元気に乗り切りましょう。

感染症予防の基本



発熱や風邪症状で受診されたい場合には、必ず事前に電話連絡をしていただくようお願いいたします。

医院外来部門：高田・宿南

お知らせ

【井上医院外来 年末年始休診日】

休診中にお薬が切れることがないように、残薬をご確認ください。

12/30(水)	12/31(木)	1/1(金)	1/2(土)	1/3(日)
休診	休診	休診	休診	休診

【通所リハビリテーションCasa 年末年始休業日】

Casaは下記の通り休業いたします。ご確認のほどよろしくお願いいたします。

12/30(水)	12/31(木)	1/1(金)	1/2(土)	1/3(日)
休業	休業	休業	休業	休業

【待合室編集担当】

井上医院：高田・宿南
通所リハCasa：田中・新谷